

生物多様性保全と持続可能な箕面の観光戦略

明治の森箕面国定公園は、大都市近郊にありながら、豊かな自然に恵まれており、四季を通じて多くの市民に親しまれており、多くの観光客が訪れています。一方で、市街地の背後に山間・山麓部がせまっているため、ひとたび自然災害が発生すれば、私たちの生命や財産が危険にさらされることになります。



危機に直面している自然や文化、暮らし

地球温暖化によるここ数十年の気候変動は、私たちの生活や自然の生態系にさまざまな影響を与えています。近年、各地で局地的な集中豪雨が発生し、土石流の発生時に溪流沿いの木を巻き込んで流れ出すことで、河川や水路などをふさぎ、市街地における被害を拡大させる流木被害も発生しています。

これまで守り続けてきた自然や文化、私たちの暮らしが危機に直面しています。

SDGsへの貢献と持続可能な観光戦略

日本政府観光局は、SDGsへの貢献と持続可能な観光の推進に係る取組方針をまとめています。

持続可能な観光とは「①地域の環境を守る・育む⇒自然や生物多様性の保全に貢献、②地域の文化を守る・育む⇒伝統・文化の保存・継承に貢献、③地域の経済を守る・育む⇒地域経済の活性化により、住んで良し・訪れて良しの地域づくりに貢献」としています。

生物多様性地域戦略と箕面の観光戦略

大阪府は「いのち輝くSDGs未来都市・大阪」をめざして、今年3月に生物多様性地域戦略を策定しました。箕面市では公民連携の観光戦略を策定する取り組みが始まっています。



秋に箕面の森に訪れる冬鳥たち

秋は鳥たちの渡りの季節です。夏に箕面で子育てを終えた夏鳥たちは温暖な南方に渡っていき、入れ替わるように冬鳥たちがシベリアなど北方から箕面の森に渡ってきます。渡りをする鳥たちに国境はありません。



ジョウビタキ(オス)



ルリビタキ(オス)



シロハラ



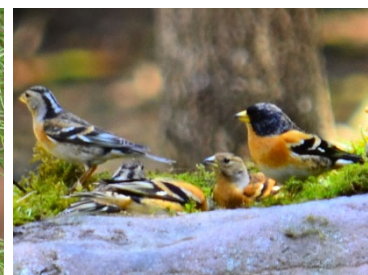
ツグミ



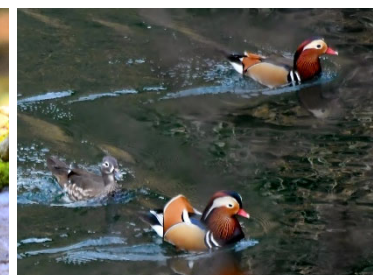
マヒワ



キクイタダキ



アトリ



オシドリ

10月23日(日)「生物多様性戦略と持続可能な箕面の観光戦略」研究フォーラムを開催！

生物多様性と私たちの暮らしの理解を深めて、生物多様性を守り・育て・活かすことが、SDGsへの貢献と持続可能な箕面の観光戦略につながるのではないかと考えています。

本フォーラムでは、生物多様性戦略と観光戦略への理解を深めて、適切なアクションプランのために何が出来るのか、私たちが出来ることを一緒に考えたいと思っています。お気軽にご参加ください。



みのお 山とみどりのフェスティバル 生物多様性研究フォーラム 大阪府生物多様性地域戦略と持続可能な箕面の観光戦略

★10月23日(日)午後1時30分～午後3時45分 開場:12時30分

※パネル展示など

★場所…箕面文化・交流センター8階大会議室(阪急箕面駅前)

★定員…100名(先着順)、**事前申込が必要**、※参加費無料

【講演】

○生物多様性と私たちの暮らし

(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター 長 平松 和也

○大阪府生物多様性地域戦略について～全てのいのちの共生を目指して～
大阪府立環境農林水産部 みどり推進室 みどり企画課 内本 大樹

○SDGsへの貢献と持続可能な観光戦略

～生物多様性を守り・育て・活かす箕面の観光とは～

大阪観光局 マーケティング事業部 観光コンテンツ開発担当課長 梶浦 愛子

【ディスカッション】

生物多様性の保全と持続可能な箕面の観光コンテンツづくりを考える



11月3日(木・祝) 山とみどりのフェスティバル《体験フェア》 三年ぶりに開催！



★11月3日(木・祝)午前10時30分～午後3時30分

★箕面公園瀧安寺前広場など ※雨天中止

○家族で楽しむ工作・体験コーナー

【工作】木切れなど自然素材を使った工作、コースター・名札・バードコール・葉っぱやゆずるのしおり作り他

【体験】きこり体験、竹ぼうき作り・竹てっぽう体験、瀧安寺ミニガイド他

○山のみどりを守る活動紹介

○災害に強い森づくりの活動紹介

○ステージでの紙芝居や音楽演奏

「雨水の冒険」「もくざいの秘密」の紙芝居上演、「箕面の森の音楽隊」による音楽演奏

○山とみどりの募金

○まちのみどりを守る活動(阪急箕面駅前ステージ)

ご家族そろって、ご来場ください！

10月22日(土)山林整備ボランティア養成講座を開催！

山林所有者の高齢化や遠隔地に住んでいることなどで、所有者からの要請を受けたボランティアの皆さんが、作業のしやすい冬の期間に、倒木処理や間伐などの活動を活発に行っています。

一方で、毎年、山林所有者からの派遣要請件数が増えていることから増員が必要となっており、一緒に活動していただけるボランティアを募集しています。

養成講座を受けて、箕面の山で楽しく活動しませんか！初めての方でもベテランのサポーターと一緒になので安心です。

★2021年度山林整備ボランティア派遣要請の件数:51件(前年より2件増)派遣ボランティア延べ人数:592人

2022年度は、件数:56件(前年より4件増加)の予定です。



箕面の森で活躍！ボランティア養成講座

★10月22日(土)午前10時～午後3時

※雨天順延10月29日(土)

★集合場所 箕面市粟生外院5丁目「皿池公園」

★午前…基本的な技術や安全知識を学ぶ講義

午後…近くの民有林で、倒木処理や間伐を体験

(作業は手鋸のみで、チェーンソーは使いません)

※参加費は無料、事前申込が必要

山間・山麓部の「巨木・大樹」調査の取り組み



保護樹木(西江寺のヤマモモ)



胸高130cmで幹周を計測

箕面市は、環境保全条例で、街なかや社寺の「保護樹木」を指定していますが、箕面の山間・山麓部にも、悠久の時を感じさせてくれる巨樹・大樹が多く点在しています。

豊かな自然が残されている箕面の自然のシンボルとして、巨樹・大樹の基礎的な調査を行う活動を、明治の森箕面自然休養林管理運営協議会に所属する市民団体が中心となって、網羅的な調査の取り組みを始めました。

明治の森箕面国定公園、及びその周辺の山間・山麓部、教学の森などを対象にしています。

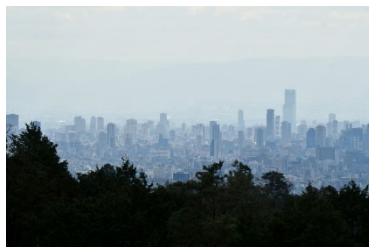
代表的な巨木を「箕面の森のハイキングマップ」に記載するとともに、将来的には巨樹・大樹を訪ねるハイキングマップの作成やハイキングイベントの開催にも役立てていきたいと考えています。

山間・山麓部の「ビューポイント」整備のための取り組み

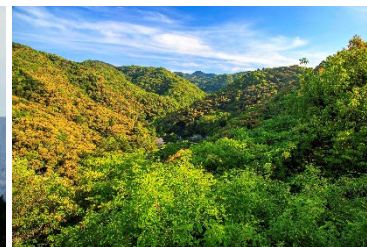
箕面の森には、聖天展望台や望海展望台、雲隣展望台、こもれび展望所など、行政(指定管理者を含む)が管理する施設がありますが、それらの施設以外にも、景観を楽しめるビューポイントがたくさんあります。ハード施設の設置や整備は行政の役割ですが、その他のビューポイントでの簡易なベンチ設置など、市民が出来ることがあると考えています。

既存の施設である展望台や展望所とあわせて、山間・山麓部に点在するビューポイントを「箕面の森のハイキングマップ」に記載し、箕面の森に来られたハイカーに豊かな景観に楽しんでいただけるように整備をしたいと考えています。

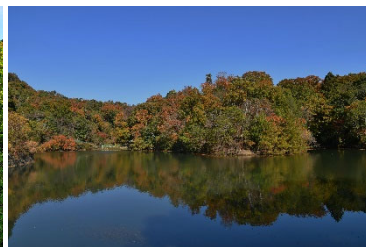
★市民の皆さまが提案するビューポイント情報を、山麓委員会事務局に提供していただきますようお願いいたします。



こもれびの森



聖天展望台

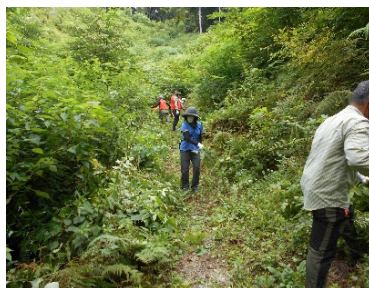


オケ原池



箕面川ダム

「こもれびの森」のハイキング道の整備と植樹した苗木の下草刈りを実施



箕面国定公園内の「こもれびの森」(市有地)は、2018年の台風21号により南斜面のスギ・ヒノキの人工林で多くの倒木が発生し、倒木撤去と防鹿用金柵を設置が行われた後、市民が中心となり、防鹿柵や防鹿ネットの見回りや補修、植樹活動などを行っています。

「こもれびの森」は、森林整備により市民に憩いの場を提供する機能を高めるとともに、土砂災害の危険を低減する機能の向上が求められています。

8月20日(土)、市民ボランティアが集まり、ハイキング道沿いや植樹した防鹿ネット内の整備を行いました。

防鹿柵内の谷筋の道では、シカによる食害が無く、夏草が繁茂しており、歩く事が出来ない状態になっていましたが、ハイカーが快適に歩けるように、ハイキング道の周辺の下草刈りを行いました。

あわせて、防鹿ネットの中に植樹した苗木の成長を促すための下草刈りを行いました。



「こもれびの森」の管理用作業道(防鹿柵の外)の土砂流出と道崩れ防止対策



作業道の崩れ(2022年9月8日)⇒対策実施(9月21日)

防鹿柵の外の管理用作業道では、増えすぎたシカによる食害で、道や路肩は裸地状態になり、徐々にひび割れが大きくなり、崩落が危ぶまれる状態になっていました。

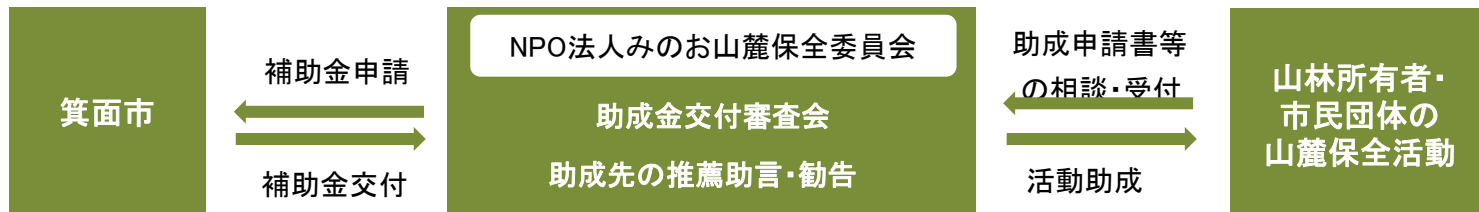
台風14号が来る前、9月中旬に、箕面市(公園緑地室)が手配した業者に作業をしていただき、ひび割れに土を埋めるとともに、これ以上、道崩れが進行しないよう、路肩に防水シートを設置していただきました。

土砂災害を防止する森の機能発揮のため、市民と箕面市との「協働」の取り組みが行われています。

持続的な仕組みによる 山麓保全活動の着実な推進

みのお山麓保全活動助成金は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り、育て、活かすために、山林所有者や市民の活動を応援(助成)する仕組みです。毎年、前期(2月)後期(8月)にその年度の活動を募集しています。NPO法人みのお山麓保全委員会は、中間支援組織として、山林所有者や市民の活動支援や助成金を活用した活動の相談や助成申請の受付などの事務を行っています。

《みのお山麓保全活動助成金の仕組み》



2021年度 山林所有者による山麓保全活動助成実績の概要

- 件数・・・83件(1件増)、助成金額・・・8,557,600円(300,900円増)
- 活動内容・・・徐間伐47件、倒木処理37件、下草刈20件、枯枝落し21件、除草11件、つる切り16件、枝打ち13件、落葉処理10件、ゴミ処理など3件、境界確認など2件、計190件(複数回答)
- 山林整備ボランティア派遣要請: 51件(2件増)、延べ592人の派遣。

2021年度 市民団体等による山麓保全活動助成実績の概要

- 件数・・・14件(新型コロナの影響で2件辞退)、返還金額(新型コロナの影響による活動回数減など)・・・267,564円
- 助成採用金額1,756,000円に対して、助成金額は1,238,436円(辞退及び返還後の金額)
- 支出費用実績・・・備品費555,204円、消耗品費215,282円、印刷製本費181,072円、旅費交通費140,300円など

みのお山麓保全活動助成 後期(8月期)の助成を決定

2022年後期(8月期)助成の概要

○山林所有者(自然緑地指定同意書提出者)の活動を助成

件数: 13件、筆数: 43筆、面積: 62,426㎡、金額1,445,600円
 新規自然緑地同意件数: 3件、面積: 12,453㎡ 山林整備サポート要請件数: 9件
 ※年間の山林整備サポート要請件数: 計56件(前年より5件増)
 2022年度(年間)助成件数: 87件、金額9,028,800円

○市民団体等の活動を助成

件数: 3件、金額267,000円
 2022年度(年間)助成件数: 16件、金額2,156,500円



活動団体名	保全活動名	助成金額
01.箕面マウンテンバイク友の会	山麓部におけるマウンテンバイクのモラルの向上と山林整備活動	¥140,000
02.外院の杜クラブ	箕面市「学校の森」の整備活動	¥9,000
03.中高大連携森林学習プロジェクト	森林保全のパンフレット作成・配布による啓発活動	¥118,000

紅葉シーズンの箕面ドライブウェイの一方通行規制

11月から12月中旬の土・日・祝日は、箕面ドライブウェイ(府道43号線豊中亀岡線)における紅葉シーズンの交通渋滞を緩和するため、一方通行規制が行われます(自転車も対象です)。

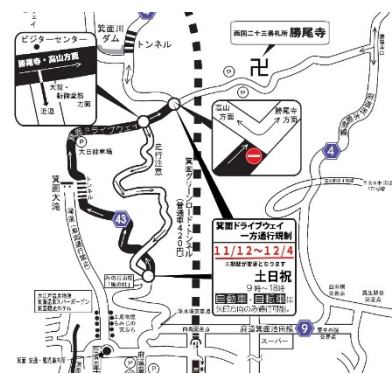
実施日・・・11月12日(土)～12月4日(日)までの土・日・祝日、9日間

規制時間・・・午前9時～午後6時

規制区域・・・箕面ドライブウェイ みのお山荘風の杜前～箕面川ダム下三叉路

○林道オヶ原線は、上記の規制実施日の時間中のみ箕面駅方面(南向き)一方通行路として通行できます。

○上記の期間中に、箕面ビクターセンターへ車で行かれる場合は、浄水場前交差点から箕面ドライブウェイを通行してください。西田橋・勝尾寺方面から箕面ビクターセンター方面へ車で通行することは出来ません。



NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室

電話&FAX: 072-724-3615 携帯電話: 090-1133-3615

メール: yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: www.yama-nami.net(検索: 山なみネット)

* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

